

私は、湧別町に住みはじめ、3年目になります。以前から相互交流事業に参加する生徒の楽しそうな表情を見て、私も実際に現地に行き異文化交流を体験したい、さらに実際参加することにより事業内容を知り、今後の湧別高校での教育活動に貢献したいと思い参加させていただきました。今回の参加にあたって、家族と職場の理解、協力を感謝しています。

降雪があり寒いと聞いていましたが、長いフライトの後、カナダ、バンフに到着すると、雪もなく、気持ちの良い夜をすごすことができました。その夜のメープル風味の鮭のディナーはカナダらしくとても思い出に残っています。

2日目、3日目はバンフ国立公園、ジャスパー国立公園を見学しました。ガイドの方、引率の方によると、今年は、例年になく温かく例年入ることのできない場所まで見学できたようで幸運でした。エルクやビッグホーンシープ、そして熊などにも遭遇し、自然を満喫しました。なかでもレイクルイーズは、エメラルド色の湖で本当に美しい景色でした。また、私が一番印象にのこっているのは、アサバスカ氷河、アサバスカ滝です。豪快に流れ落ちる滝と岩肌見える小道を歩いて少し下るとゆったりとした川の流れが見え、大自然を堪能しました。

そして、ホワイトコート着。生徒たちもいよいよ緊張した表情になりました。しかし、以前湧別町に滞在していたダコタ君をはじめ、ホワイトコート町の方々の優しい笑顔に つつまれた対面式で、安心してホームステイを始めることができました。

私のホストは、2匹の猫とウサギを飼っていて、滞在中、猫のマックスとシナモン、ウサギのサイモンにとっても癒されました。

ホストファミリーとの一番の思い出は、ボブ（ホストファザー）がアイスホッケーの試合に連れて行ってくれたことと、バーナテッド（ホストマザー）と一緒にパックをしたことです。

アイスホッケーは、これまで一度も見たことがなく、ルールもよくわかりませんでしたが、目の前で見るととてもスピーディで迫力があり、力強く、試合合間の大音響のアナウンスなど独特のものがあり、地元のチームが逆転勝ちするという面白い試合で、興奮しながら楽しむことができました。

バーナテッドと一緒にしたパックは、日本から持っていった歌舞伎パックで、二人で、「へのへのもへじ」と「キツネの嫁入り」風な顔になり大笑いしながら写真を撮りあいました。また、バーナテッドは、料理が嫌いと言っていましたが、何度か作ってもらったシーザーサラダが美味しくて、作り方を教わりました。日本では、同じ材料はありませんが、帰国後、まねて作ってみたところ、家族には好評でした。

また、一日、ヒルトップハイスクールで授業を見学させていただきました。英語の授業や化学、生物学、ドイツ語など見学させていただき、日本との相違点を改めて知ることができ

ました。また、先生方とお話しさせていただいて、私自身の授業の参考になるアイデアをたくさん得ることができました。現地の高校生は、とても明るく、フレンドリーな生徒が多く、「日本の先生が見学に来ています。」と紹介されると、日本に興味をもっている生徒が何人も話しかけてきてくれました。日本について話していると、やはり日本の漫画文化の影響が強いようでした。(私は、漫画のことがよくわからないので残念でした。)

そして、週末は何度も授業でも教えている「ハロウィーン」です。実際に海外で体験するのは初めてでした。生徒のみなさんは、仮装してパーティに行き、トリックオアトリートを楽しんだようですが、その日はあいにく雨でした。私は、ホストの家で、仮装してトリックオアトリートと言いながらやってくる子供たちに飴やチョコを渡しました。みんなとってもかわいくて、楽しそうでした。ジャコランタンやお化けなどで飾られた通りを仮装した子供たちが通り、本場のハロウィーンを楽しむことができました。

2週間という短い期間でしたが、カナダ、そしてホワイトコート町を知り、十分に異文化を体験することができました。町の方をはじめ、ホストファミリーの方、学校関係者の方々、みなさん、大変お忙しい中、本当に優しく親切に受け入れてくださり、どこに行っても笑顔で迎えてくださり、本当に気持ちよく過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。たとえ、文化の違い、言葉の壁があっても伝えたい気持ちがあれば、通じ合えるものだと改めて感じました。

この経験を通し、相互交流事業の素晴らしさを強く実感することができました。また、実際にホワイトコート町を訪れ、現地の方と交流する中で、湧別町とホワイトコート町の毎年毎年の交流の歴史を感じることができ、その一つの歴史に自分も参加できたことを光栄に思います。今後、職場を始め、その他の場所でも、この事業の素晴らしさを広め、教育活動に生かしていきたいと思えます。